

膨脹する英國の鑄物工業と原料問題*

By A. Graham Thomson

(Formerly editor of the "Engineer and Foundryman" published in the Union of South Africa, who is now living in Britain.) (BiS)

第二次大戦の終了と共に英國の鑄物工業は年々堅實な發展を遂げ、鑄物仕上品及び完成品の全生産高は最高記録を示すに至つたが、この鑄物工業の膨脹に伴う諸原料の急激な需要の増加に應ずるために種々の困難が生じたことも亦當然のことであり、さらにこの問題はドル相場の変動、或は大戦以來膨脹した他の諸工業の需要の増加等によつて、一層拍車をかけられたことも事實である。

しかし、この困難な状況の下にあつて、なおその生産量が増大していることは、鑄物工業經營上の企劃と熟練の上達に負う處が大であり、又限定された原料の供給、分配を組織的に行ふことの出來たことの直接の證明でもある。

さらに、この問題は熔鑄爐操業に大きく支持されていることは勿論で、事實熔鑄爐はよく急激に増大する消費に應じて來た。そして需要よりの壓迫が時々刻々に諸種の困難な問題を提供したにも拘らず、常に膨脹する要求に應じて、十分な量の銑鐵が供給された。目下供給量はやゝ逼迫した状況ではあるが、極めて不足するという段階には至らないであらう。

而も幸なことに、英國の鑄鐵、鑄鋼工場はその必要量の銑鐵を歐洲大陸諸國の平均よりかなり低い水準に調整された價格で入手することが出來、これが英國の鋼が現在世界の最低値段を示している主要な理由の一つとなつている。

この様に銑鐵の供給は、これまで極めて良好な状態を保つてきたが、その反面スクラップの状態はそう簡単ではない。しかし、鑄鋼工場は大して著しいスクラップ消費者ではないし、又鑄鐵工場に對しては供給省が必要量の取得を援助することになつている。

有名耐火煉瓦に代替品

石炭産出量の低下に伴つて、キューボラ用コークスも戦前ほど潤澤に入手することが出來なくなり、又一部良質炭炭層の稼行中止によつて戦前より低質のコークスの使

用を餘儀なくされたが、しかしこれら燃料の品質について公式の苦情は現れていない様である。

石灰石、ガニスター及び砂等はすべて豊富で、鑄物工場の要求する各種の品位のものが容易に得られる。しかし、他面或る種の商標の耐火煉瓦は不足して、例えばキューボラのライニングに當つては、入手に3、4ヶ月乃至それ以上の納期がかかる。これは數種の有名商品に對してのみ注文が過剰であることによるので、これに代る他の商標のものは自由に購入し得る状態である。

又ワイオミング・ベントナイトは爲替の關係から、なお入手困難であるが、英國のメーカーによつて市販される數種の商品があり、これらは現在各鑄物工場に全面的に使用されている。

中子油については、リンシード油は十分供給されているが、價格が極めて高騰しているの、各種の糊やその他化合物が多く鑄鐵及び非鐵鑄物工場で試用される様になり、或る種のものとは十分實用になることが確められている。

他方非鐵鑄物工場も完全に操業しているが、主要金屬の需要の見透が確定せず、價格の變動も激しいから、需給状態に關する今日の評論は明日の役に立たなくなる恐れがある。

木型工場は所要量の木材を容易に取得することが出來るが、質と種類の點では未だ戦前の水準に遠く、こゝになお技術的な困難がある。

英國の鑄物工業に於ては、確かに“必要が順應の母である”と言えよう。凡ゆる主要原料の供給が適正な状態に回復する日まで、鑄物工業界にはその時々を生ずる難題に打勝つための努力が要求されるであらうが、器用さと能率とを存分に發揮すれば、戦前數年間にみられた様なすばらしい工業的進歩を期待することが出來よう。

(早大理工學部助教長谷川正義譯)

* G.H.Q. 民間情報教育局提供資料